

そうだ！酪農があった 学生募集

(財)中国四国酪農大学校 教務課 北野紘平

梅雨も明け、蒜山高原は観光シーズン到来といったところです。(財)中国四国酪農大学校でも2番牧草の刈り取りが始まりました。

さて、今回は平成22年度入学の学生募集案内ということで筆を執りました。ご存知のとおり、本校は酪農後継者育成のために実践的酪農をめざして学生教育を行っています。そのため畜産系4年制大学に比べ実際に牛を扱う講義・実習が盛りだくさんです。1年生から毎日の牧場実習では搾乳の準備から片付け、除糞、給餌など学生が主体的に行います。また牧草収穫で作業が忙しい時期にはトラクターの運転もします。もちろん実習だけでなく昼間には座学(講義)もあります。講義科目は専門的で搾乳理論、飼料学、家畜繁殖学、飼養管理学、家畜衛生学など、また牛の解剖、乳肉加工、飼料用トウモロコシ栽培などの演習があります。2年生になると、校外研修があります。学生自身が研修したい酪農家を全国のリストから選定します。この研修では1年次で身につけた基礎知識を現場の牧場で研修することで一層身につけることとなります。北海道から九州・沖縄まで学生たちは全国に出かけ、6ヶ月後にはひとまわり大きくなって帰ってきます。翌年の春には、酪農現場で活躍できる技術を習得して酪農経営、牧場勤務、酪農ヘルパーなどとして卒業していきます。

酪農大学校の魅力のひとつに酪農経営に必要なさまざまな資格を取得できることがあげられます。主なものは家畜人工授精師、体内受精卵移植師、トラクター関係免許、削蹄師(2級)、家畜商です。

2年間の修学では短いと思うかもしれませんが、酪農のことだけを短期間に集中して実践技術・知識を習得できるので期間の問題は

ありません。また、農業高校を卒業したら牧場に就職できると思う人も多いと思います。確かに就職できますが、専門の教育機関を卒業して就職したほうが酪農キャリアとして自信につながります。また、本校の卒業生が就職した牧場からたびたび良い評判が耳に入ってきます。

最近是非農家の学生が半数以上となっています。彼らは卒業後すぐに酪農の現場で働きたい、新規就農したいという希望を持って入学してきます。また、社会人が新規就農の為に酪農の基礎を学びたいという学生もいます。ぜひ、それぞれ大きな希望を抱いて酪農大学校に入学してください。きっとみなさんにとってすばらしい2年間になることを約束します。

H22学生募集案内について詳しくは酪農大学校ホームページをご覧ください。

TEL : 0867-66-3651

FAX : 0867-66-3652

E-mail : jerko@mx4.et.tiki.ne.jp

(担当：教務課 北野)

中国四国酪農大学校 検索

<http://ww4.et.tiki.ne.jp/~jerko/>



岡山畜産便り 2009.08

トラクターけん引の練習風景